

単元名 大事なことを考えながら聞こう (A 話すこと・聞くこと)

「聞き取りメモのくふう」(光村図書)

目指す児童像 「思いや考えをまとめて伝え合い、学びを広げられる子」

1 主体的に学ぼうとするための手だて

①効果的な掲示物の活用



聞き取りメモの工夫

メモの取り方を児童が確認できる「聞き取りメモの工夫」を作成した。掲示物を活用することで、常に振り返りができるようにした。

協議会 社会科見学の話は児童の興味を引き出せていた。メモの取り方を確認できる「聞き取りメモの工夫」の掲示物を作成したことは児童に効果的だった。

②アンケート調査による興味・関心のある題材を選ぶ

- ・児童にアンケートを実施して、「体力調査」「社会科見学」「給食の秘密」の3つの題材を決定した。

協議会 アンケートを実施して決めた題材に、児童は興味関心をもって聞いていた。教師が原稿を書いたり話すスピードを検討したりして行ったことは効果的だった。

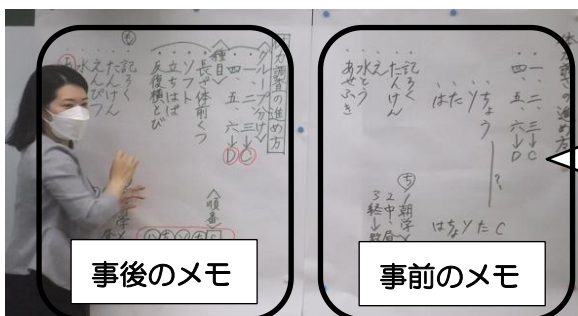
③変容を見取るための3つの題材

- ・実態調査を行い、知識・技能の定着度を確認した。
- ・技能向上のため、段階的に難易度をあげて3つの題材を準備した。



2 自分の思いや考えを表現する力を身に付けるための手だて

①モデルの提示



事後のメモ

事前のメモ

児童がメモを取る際のモデルになるメモを教師が作成して提示した。事前のメモと事後のメモを比較させることで「聞き取りメモの工夫」(掲示物)をより活用することができた。

協議会 タブレット端末を活用し、児童同士の交流が活発だった。教師が作成した2つの聞き取りメモのモデルがよかった。

②メモ用紙の選択

- ・メモ用紙の選択ができるよう、無地、罫線(縦、横)、枠の4種類を用意した。

③振り返り

事後のアンケートでは、児童のやる気につながったと思う学習と役に立った学習の項目で、「教師の聞き取りメモを見たこと」を挙げた児童は全体の8割と多かった。聞き取りメモのモデルを見たことにより、具体的に良いメモとはどのようなものかを理解し、真似をしてみようという児童が増えた。できるようになったことの項目では、「見返して、もう一度メモを整理し速くメモを取る」が全体の7割であった。3回聞き取りを行ったことで、要点をとらえてメモをする技術が身に付いたと考えられる。